



ろうさい連携だより

2023.12
第 **41** 号

病院の理念

患者さんの立場に立った、満足と納得をして頂ける医療の実践

特集

当院の専門センター紹介 Vol.6 股関節センター



当院は、急性期入院加療・救急・がん診療を三本柱とした診療を登録医の先生を中心とした連携によって展開しています。

独立行政法人 労働者健康安全機構 **東北労災病院**

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 日本医療機能評価機構認定病院

目次

- ・P1 副院長就任のご挨拶
- ・P2 医療連携のつどい開催報告
- ・P3-5 股関節センター紹介
- ・P5 お知らせ
- ・P6 地域医療連携センターから
- ・P7 令和5年12月外来担当医表

■ ■ 副院長就任のご挨拶

副院長・総合患者サポートセンター長
島 山 明

2023年4月1日付で副院長を拝命しました島山 明です。

1997年4月に労災病院に赴任しましたので27年目になります。常勤医では2番目に古株で、これが最後の御礼奉公と考えております。大学卒業後石巻日赤で初期研修しました。脳外科も循環器科もなく週に1回は仙台まで救急車でドライブでした。帰りは車酔いで寝台車になります。そのころまだ無名の牛タンを初めて食べてそのおいしさに感激し、いっぱい食べるために無我夢中で頑張りました。その店の主人は仙台の初代のお弟子さんだったようです。そしていくら勉強しても理解できない膠原病を学ぶため第2内科免疫科に入局。でもやはり何一つ理解できず労災病院に赴任しました。

赴任後2年もたたず齋藤先生が抜け、その数年後一人体制が2年間続きました。忙しくて大変なこともありました。もちろん楽しいことうれしいこともありました。大学の協力と若さのみで乗り切りました。ただ東日本大震災、新型コロナ、ウクライナ戦争、私のちっぽけな一生には一つだけでも大事件なのに3つもありません。還暦の行事もコロナで吹き飛ばされました。3年遅れましたが取り戻してやろうと思っております。

さて私の副院長としての役割は外来診療部統括部長と総合患者サポートセンター長です。サポートセンターはこれまで6つあった相談窓口

- ①地域医療連携センター
- ②入退院支援センター
- ③がん相談支援センター
- ④よろず相談センター(患者様相談センター改め)
- ⑤医療福祉相談室
- ⑥両立支援相談窓口

を1か所にまとめました。利用しやすくなりましたので気軽にご利用ください。

ご存知のように現在当院は移転問題の渦中に置かれております。先が見えず病院全体が何となく、五里霧中のような状態です。何を目指してどこにいけばいいのか正直わかりません。最近石巻に以前の牛タン店にゆかりのある方が営業再開していると聞きました。今はまたあのおいしい牛タンをいっぱい食べられるように少し頑張ってみようかなと考えております。よろしく願いいたします。

2023年度 東北労災病院

医療連携のつどい 開催報告

2023年10月4日(水) 江陽グランドホテルにて、地域の連携登録医との意見交換を目的として、東北労災病院医療連携のつどいを開催させて頂きました。

地域の登録医の先生方をはじめ、訪問看護ステーションや介護福祉施設などから、118名の皆様にご参加頂きました。

第1部は当院医師による主な診療科紹介、第2部の情報交換会では、仙台市医師会長の安藤 健二郎 先生はじめ、多くの先生方より貴重な沢山のご意見を頂戴しました。

頂戴したご意見を今後の地域医療サービスに役立てて参ります。

○診療科紹介発表者及び演題

- ・ 整形外科部長 日下部 隆
「当院整形外科の診療について」
- ・ 消化器内科部長 大矢内 幹
「消化器内科(主に内視鏡センター)の診療について」
- ・ 消化器外科部長 松村 直樹
「当院の腹腔鏡手術について」
- ・ 呼吸器内科部長 榊原 智博
「当院呼吸器内科における肺癌診療」
- ・ 泌尿器科副部長 櫻田 祐
「泌尿器科」
- ・ 看護副部長 三澤 由美子
「地域包括ケア病棟におけるレスパイト入院の現状と入退院センターの活動」



独立行政法人労働者健康安全機構

東北労災病院

医療機関の皆さまへ(医療連携について)

<https://www.tohokuh.johas.go.jp/connection/institution/institution2/>



Ⅰ 股関節センター

第一関節外科部長兼股関節センター長 千葉 大 介

平素、登録医の先生方におかれましては、患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。

当院では「人工関節センター」が廃止され、新たに2023年7月1日から「股関節センター」が開設されました。この度、股関節センター長を拝命した千葉大介と申します。私は2001年に東北大学整形外科に入局し、2004年から勤務した仙台医療センターで股関節外科の道に足を踏み入れました。2007年から東北大学大学院に入学し、基礎研究を行いながら股関節外科医としての研鑽を積んできました。2023年3月までの10年間は、東北大学病院で股関節グループのチーフとして診療、教育、研究に携わってきました。2023年4月に東北労災病院へ赴任して早々、股関節センター長を拝命し、大変身が引き締まる思いでございます。

皆さんご存知の通り、日本は超高齢社会です。高齢化率は約29%になり、生産年齢の2人で高齢者1人を支える時代になっています。2050年には生産年齢の1人で、高齢者1人を支える時代になると予想され、介護制度や保険制度は現状通りには維持できなくなります。要支援・要介護の原因の1/4は骨関節疾患です。我々整形外科医は、高齢者が介護などを受けることなく、可能な限り自立して生活できるように、骨関節疾患に対して早期診断・治療を行っていくことが重要だと考えています。

年を取っても楽しく日常生活が送れるように、旅行やスポーツなどやりたいことができるように、患者さんが満足と納得をしていただける医療を実践して参ります。

【変形性股関節症】

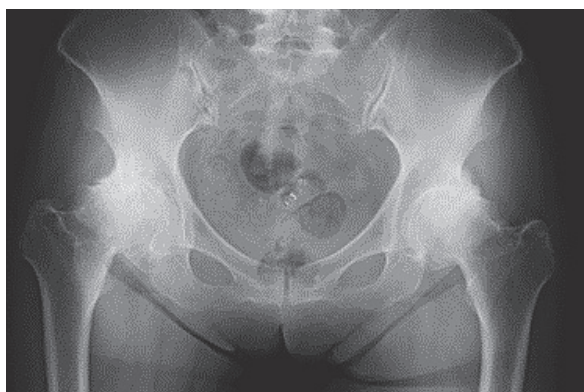
股関節疾患として圧倒的に多いのが、60歳代以降の女性によくみられる変形性股関節症です。最初は股関節の違和感を覚え、動き始めや歩行時の疼痛を感じるようになります。進行すれば、じっとしていたり、寝ていたりしても、常に痛みを感じるようになる方もおられます。さらに進行すると可動域が悪くなり、脚の長さが短くなります。左右の脚長差が生じることから、脊椎や膝の変形をきたすこともあります。

【最小侵襲の人工股関節手術】

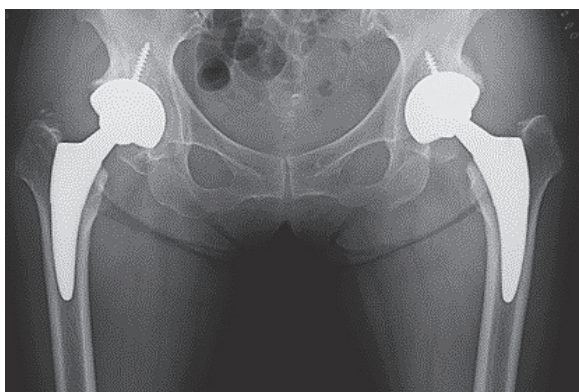
人工股関節手術は、インプラントの素材の改良、手術手技の進歩、各種ナビゲーションなどの先端技術の導入によって、ここ数年で目まぐるしく発展しています。当センターではナビゲーションを用いた最小侵襲手術(MIS: Minimally invasive surgery)を行ってきました。さらに2023年10月から、手術支援ロボット「ROSA」を宮城県内で初めて導入しました。MIS人工股関節とは、従来の手術方法と違い筋肉や腱を切らずに手術を行う方法で、術後の回復が早いといわれています。そのため入院期間も以前より短縮して、10日～2週間程度で退院が可能となっています。また手術侵襲が少ないことから、両側の股関節が悪い患者さんにおいては、両側同日に手術を行うこともあります。そのような両側例の患者さんでも、片

側だけ手術を行った患者さんと同様のリハビリプログラムで退院されます。1回の入院、1回の手術で両側同時に治療できることから患者さんにとってはメリットが大きいと思います。

人工股関節の問題点として、術後脱臼があります。従来の人工股関節では、1～5%の確率で術後に脱臼するといわれています。術後は脱臼を予防するため、正坐や前屈み、脚組み、あぐら、床での生活などが禁止されていました。一方MISでは、筋・腱を温存しますので、脱臼しにくいという利点があります。当センターで行っている手術は、ナビゲーションや手術支援ロボットを使用して正確に人工関節を設置し、MISで筋・腱を温存していますので、脱臼率が劇的に低下しました。ですから、従来の手術のような術後の禁止動作はありません。



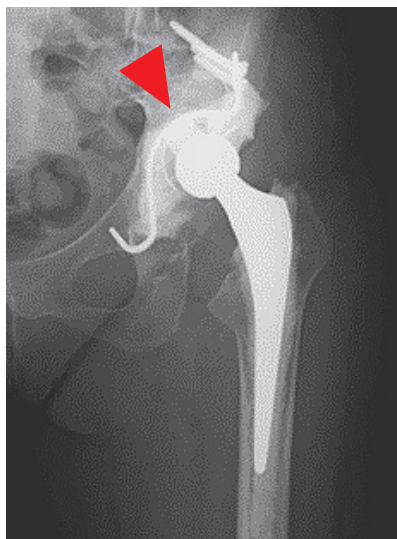
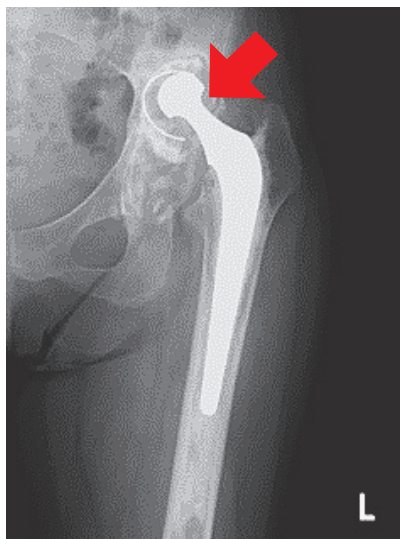
(左) 両側変形性股関節症



(右) 両側同日に人工股関節手術を行った

【人工股関節再置換術と骨銀行(bone bank)】

長年人工関節を使用していると、人工関節がゆるんでくる場合があります。また、一定の確率で人工関節が感染することもあります。そのような場合には人工関節の入れ替え手術(再置換術)が必要になります。人工関節にゆるみや感染が生じると周辺の骨が壊れて骨欠損が生じることがあります。当センターではbone bankを備えておりますので、骨欠損が大きい場合でも、同種骨移植を用いた再置換術が可能です。

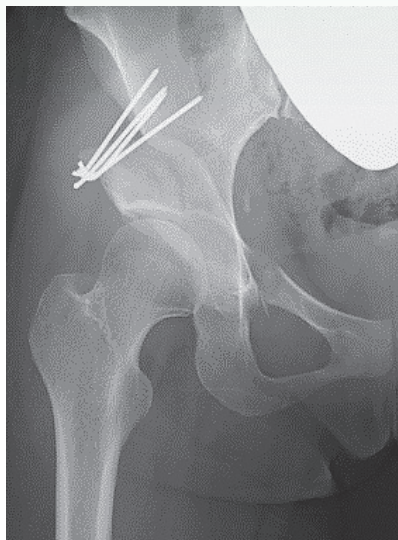


(左) ゆがんだ人工股関節
カップが骨盤の骨の内にめり込んで
腸骨を大きく破壊している(矢印)

(右) 腸骨の骨欠損部に同種骨移植(矢
頭)を用いて再置換術を行った

【関節温存手術】

人工関節手術だけではなく、変形が軽度な若年者に対しては関節温存手術を行います。人工関節が進歩したとはいえ、20～30歳代の若年者に人工関節を行うと、将来再置換手術が必要になる可能性が高いです。若年者で関節の変形が軽度な患者さんの場合には、様々な骨切り手術を行うことで、骨・軟骨が長持ちするように骨の形を矯正し、一生自分の関節で暮らせるような治療を目指しています。



(左) 寛骨臼形成不全
骨頭に対して寛骨臼の被りが浅い

(右) 寛骨臼回転骨切り術を行った
骨頭に対する被覆が改善している

患者さんごとに状態や症状は違います。治療の選択肢は様々なものがあります。患者さん一人一人の訴えにしっかり向き合い、その患者さんに最も良い治療法を考えていきます。

対象疾患は、変形性股関節症、寛骨臼形成不全症、大腿骨頭壊死症、外傷などになりますが、股関節周辺を痛がっているけど原因がよく分からないということでも構いません。月曜日、水曜日、(木曜日)が外来日になっております。お気軽に、「股関節センター」宛へ、御相談、御紹介下さいますよう、よろしく願い申し上げます。

お知らせ

【がんセンター公開セミナー】 12月8日(金) 17:30～18:30

基調講演：「当院における早期胃癌の内視鏡治療について」

演者：東北労災病院 消化器内科副部長 近藤 穰

特別講演：「宮城県のがん検診とがん対策」

演者：宮城県対がん協会 がん検診センター所長 加藤 勝章 先生



【台原がんセミナー】 12月12日(火) 18:00～19:30

講演① 「宮城県でのアピアランスケアの取り組み(仮)」

演者：東北労災病院 ソシオエステティシャン 瀬戸 真由美

講演② 「がん患者のアピアランスケア(仮)」

演者：目白大学 看護学部看護学科 教授 野澤 桂子 先生



地域医療連携センターから

人事異動のお知らせ

採 用		
令和5年6月1日付	眼科	武田 瑤子
令和5年10月1日付	耳鼻咽喉科	齋藤 雄太郎
退 職		
令和5年5月31日付	眼科	山田 百合菜
令和5年6月30日付	皮膚科	秋野 萌子
令和5年9月30日付	病理診断科	岩間 憲行
令和5年9月30日付	麻酔科	灰谷 あずさ
令和5年9月30日付	内科専攻医	池田 大輝

月別紹介患者数

	紹介患者数(人)	逆紹介患者数(人)
令和5年4月	966	922
令和5年5月	948	965
令和5年6月	1,001	1,087
令和5年7月	819	999
令和5年8月	940	1,011

採 用(令和5年4月1日付)訂正版		
整形外科専攻医師	佐藤 佳衣	※前号の記載に誤りがありましたので訂正いたします。 左記医師について、内科専攻医師と記載しておりましたが、正しくは整形外科専攻医師です。
整形外科専攻医師	鈴木 優樹	
整形外科専攻医師	正岡 隼	

東北労災病院 外来診療担当表 (令和5年12月1日)

科/部門		曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	特殊外来・各種教室等
総合診療科			小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	完全予約制
内科	消化器内科	胃腸内科	白木 学	齋藤 紘樹	小島 康弘	大矢内 幹	小島 康弘	院外新患は毎週月・木・金の午後(予約制)
			齋藤 晃弘	今成 賢士郎	大矢内/近藤	白木 学	近藤 稜	
		渡部 康也	伊藤 圭祐	半田 朋子	菅原 優里	佐藤 拓		
	内視鏡	上部	大矢内/近藤/半田	大矢内/近藤/半田	大矢内/近藤	山川/近藤/半田 大原(秀)【第3週のみ】	大矢内 幹	
		下部	小島 康弘	小島/白木	白木 学	小島 康弘	白木/半田	
	肝臓科	小林 智夫	田中 裕	山川 暢	小林 智夫	田中 裕	河野 雄一	
		山川 暢		阿部 直司				
	腫瘍内科		森川 直人		佐藤 悠子	森川 直人	森川 直人	
	緩和ケア内科	珠蘭 其格11:00~12:00	小笠原 鉄郎9:00~12:00	小笠原 鉄郎11:00~12:00	珠蘭 其格9:00~12:00	小笠原 鉄郎11:00~12:00		
	糖尿病代謝内科	彌田 藍(登録医新患)	彌田 藍(登録医新患)	中村 麻里(登録医新患)	彌田 藍(登録医新患)	彌田 藍(登録医新患)		
循環器内科	鈴木(令)/亀井/金子 ^{※1} 【再来】	彌田/中村/鈴木(令)/亀井【再来】	彌田/鈴木(令)/亀井【再来】	彌田/中村/鈴木(令)/亀井【再来】	中村/鈴木(令)/亀井【再来】			
	田中 光昭(新患)	高橋 貴久代	宇塚 裕紀(新患)	田中 光昭(新患)	東北大学医師(新患)			
高血圧内科	高橋 貴久代(再来)		田中 光昭(再来)	宇塚 裕紀(再来)	高橋 貴久代(再来)			
	金野 敏	宗像 正徳	金野 敏	宗像 正徳	金野 敏			
腎臓内科		神田 学		神田 学	神田 学	木曜日は院外新患のみ完全予約制		
呼吸器内科		三浦 元彦	榊原 智博	田代 祐介	三浦 元彦	榊原 智博	喘息外来(予約制) 月 14:00~15:00	
		田代 祐介	大塚 竜也	中村 優	中村 優	大塚 竜也	重症喘息外来(予約制) 木 14:00~15:00	
		鳴海 茜	谷津 年保	阿部 武士	谷津 年保	阿部 武士	禁煙外来(完全予約制) 火 14:00~16:00	
				大友 梓				
呼吸器外科		保坂 智子				保坂 智子		
心療内科		町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	新患は火・水曜日のみ完全予約制	
		町田 知美	町田 知美	町田 知美	町田 知美	町田 知美		
小児科		千葉 靖	千葉 靖	高柳 玲子	高柳 玲子	千葉 靖	午後診(すべて予約制)乳児健診(及川)月・木曜13:00~	
		高柳 玲子	沼田 美香	沼田 美香	※及川 智子	沼田 美香	予防接種:火・木曜14:00~	
		※及川 智子					腎臓外来(千葉 靖):木曜14:00~	
外科	消化器外科	成島 陽一	消化器外科担当医(新患のみ)	松村 直樹	徳村 弘実	野村 良平	ヘルニア外来:月・火・木・金	
	大腸肛門外科		高橋 賢一	佐藤 馨	野村 良平	本山 一夫	胆石外来:月・火・木・金	
乳腺外科		本多 博			千年 大勝(第1週)	(午前)本多 博	午後新患のみ予約制	
		本多 博(午後新患のみ)			吉田 清香(第2週以降)	(午後)千年 大勝		
整形外科	関節	井樋 栄二(午前のみ)	小河 裕明	小河 裕明	小河 裕明	井樋 栄二(10:00まで)		
		千葉 大介	奥野 洋史	千葉 大介	千葉 大介(午前のみ)	奥野 洋史		
		奥野 洋史(午前のみ)	品川 清嗣(午前のみ)	國井 知典	國井 知典(午前のみ)	品川 清嗣		
		國井 知典(午前のみ)	小林 史恰(午前のみ)	正岡 隼(午前のみ)	佐藤 佳衣(午前のみ)	信田 進吾(午前のみ)		
		品川 清嗣(午前のみ)	三浦 慎次郎(午後のみ)	信田進吾(午前のみ)				
	信田 進吾(午前のみ)							
脊椎		日下部 隆		日下部 隆	※①日下部 隆	※①日下部隆 第2・4金曜 午後不在		
脳神経外科	高橋 智子	高橋 智子	高橋 智子	高橋 智子	高橋 智子	※②松谷重恒	※②松谷重恒 第1・3金曜 午後不在	
皮膚科	谷田 宗男	瀨川 優里恵	谷田 宗男	瀨川 優里恵	谷田 宗男		完全予約制	
泌尿器科	櫻田 祐(新患)	島谷 蘭子(新患)	島谷 蘭子(新患)	荒川 洋介(新患)	荒川 洋介(新患)	阿部 優子	外来新患完全予約制	
産婦人科		阿部 優子	荒川 洋介	阿部 優子	櫻田 祐	阿部 優子	月・水・木曜日の午前のみ完全予約制	
		阿部 祐也	—	東北大学医師	阿部 祐也			
眼科		植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	月・火・木曜日手術日(受付10時まで) 月・水・金曜日午後検査(予約制)	
		武田 瑤子	武田 瑤子	武田 瑤子	武田 瑤子	武田 瑤子(午前のみ)		
		東北大学医師(午前のみ)						
耳鼻咽喉科		渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	手術日月・水・金 再来予約制 舌下免疫療法:木曜午後 (完全予約制)	
		織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔		
		清水 佑一	清水 佑一	清水 佑一	清水 佑一	清水 佑一		
		齋藤 雄太郎	齋藤 雄太郎	齋藤 雄太郎	齋藤 雄太郎	齋藤 雄太郎		
		佐藤 悠歩	佐藤 悠歩	佐藤 悠歩	佐藤 悠歩	佐藤 悠歩		
	東北大学医師(午前のみ)		大山 健二	大山 健二				
リハビリ科	安達 理	原田 卓	※東北大学医師(第5を除く) 心リハ外来	安達 理	原田 卓		外来院内紹介は午前のみ	
放射線治療科	田邊 隆哉	田邊 隆哉(新患)	田邊 隆哉	田邊 隆哉	田邊 隆哉(新患)		完全予約制	
リウマチ科		加藤 一郎	加藤 一郎(新患)	加藤 一郎	畠山 明	加藤 一郎	完全予約制(院内・院外)	
			永井 泰地	永井 泰地(新患)	永井 泰地	永井 泰地		
歯科		永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	完全予約制	
		塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲		
がん看護外来		濱中 直美 (がん化学療法)	穴戸 理恵 (乳がん)	板谷 越恵子 (がん化学療法)	山内 佳恵 (緩和ケア)	伊藤 一美 (がん性疼痛)	完全予約制()は担当看護師認定領域 ※予約枠:午後のみ(13時~16時) 午前:山内 佳恵(緩和ケア) オンコル対応(不在時は午後枠担当者へ)	

※1 11/13より



独立行政法人 労働者健康安全機構 **東北労災病院**

〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4-3-21

受付時間 8:15~11:00

代表電話 022-275-1111 代表FAX(総務課) 022-275-4431

地域医療連携センター

電話 022-275-1467 専用FAX 0120-772-061